

# スクールガードさんの安全通信

No. 41  
2024. 7. 24

発行責任者  
二見北小学校区  
スクールガード代表  
永田 聡

## PTA（本部役員）とSGとの意見交流会+学校(メディアイーター) (実施：2024.7.16 @PTA 室)

保育園組の保護者向けに（入学前に）交通安全の話をしていただけたらどうか？また当該児童をSGが度々学校まで付き添っていることをその保護者は理解されているのでしょうか？このような会議は今後の年間活動計画に前もって織り込んでいただければと思う。（辻本）

特に低学年の子どもには学校、家庭での日頃からの指導が必要と思う。親も子どもSGにもっと感謝することが必要ではないか。（松本）

SGは「教育する・しつけをする」ポジションにはないと思っている…がこと安全に関しては別、特にこの現場は物理的な対策が必要だと思う。（永田）

自身の子ども1年・4年生が現場を通学しており以前より通学児童は増加している。特にわき見しながらの児童は危ないと思う。確かに現場は危険なところと認識している。例えば、集団登校班（学年混在）など作ることも有りか？（澤本）

五十嵐さんの説明で驚いた。自身の子どももこの現場を通学するので前から危ないとは思っていた。保護者が立たなきゃと思いつつSGさんには感謝、家庭でも子どもにはもっと指導していきたい。（雨崎）

先月6月20日JR大道里第2踏切北側（通学路・現場：道幅とても狭く、且つ二人の児童が口喧嘩を始めたその時）一方の2年生女子児童がSGに注意され大泣きした件、事後詳細に調べた結果をまとめ本日の説明にいった。【大泣き原因】車との衝突危険性が高まるなかSGの大声での注意が怒鳴る口調になった。【現場】遮断機開閉回数が多く、且つ車1台ギリギリの幅、児童100人以上、更に車・自転車・バイクが同時（南北）に往来する危険な場所。【対応策】SG研修、車の通行時間制限、児童への安全教育。保護者自ら現場の危険性を体感していただきたい。また当該児童の連れ添いについては学校、保護者には今まであまり報告していない。（五十嵐）

子どもは意外と賢い。自身も幼稚園の子がいるので普段から一緒に歩くときなどで交通ルールを教えていきたい。（日吉）



以前は、SGさんが立っていて当たり前程度の認識（安心感など）だった。話し合ったことでSGさんが大切な人だと思った。また親と子どもとの話し合いももっとすべきと感じた。（木下）

自身の子ども6年生と保育園児（2人）、ここでは登校班がないし近所の児童の通学時間はマチマチだ。子どもたちが自身で出来る登校班があってもいいのでは。（村上）

保育園の保護者向けに警察が出前講座出来るかどうか聞いてみる。普段から社会的ルール（決まり）等を家庭内で話し合ってもらいたい。（伊藤）

SGさんと児童・SGさんと保護者間での相互理解・信頼関係がとても大切で、学校は安全教育を通じその潤滑油の役目を果たしたい。登校班には賛否両論あるが、よりよい方法を模索したい。（梅本教頭先生）

【まとめ】このような会を持てたこと自体とてもよかった。皆さんのそれぞれの思いを出し、理解し合えることがとても大事だと思う。（入江校長先生）